

令和8年度第1回NIC-Japanセミナーシリーズ 「ミャンマーの教育制度・高等教育資格」を開催



【実施形式】 オンライン（Zoom ウェビナー）

【開催概要】

本セミナーでは、ミャンマーの教育制度及び高等教育資格をテーマに、東京工業大学名誉教授の牟田博光氏を講師にお招きして開催いたします。
牟田氏は教育学を専門とされ、ミャンマーの教育制度や高等教育政策について長年にわたり研究を重ねてこられました。
当日は、これまでの豊富な研究経験を活かし、ミャンマーの教育制度（高等教育制度、高等教育における資格、大学入学制度など）についてお話しいただきます。

【登壇者】



牟田 博光 氏
東京工業大学名誉教授



<https://www.nicjp.niad.ac.jp/news/NICseminar>



<https://forms.cloud.microsoft/r/svCvWmg7H5>
参加申込締切：2026年6月12日（金）17時

【問合せ先】

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 高等教育資格承認情報センター（NIC-Japan）事務局
E-mail: nicjp@niad.ac.jp

NIC-Japanセミナーシリーズ
「ミャンマーの教育制度・高等教育資格」

2026年6月19日（金）、高等教育資格承認情報センター（NIC-Japan）は、令和8年度第1回となるNIC-Japanセミナーシリーズ：「ミャンマーの教育制度・高等教育資格」を、東京工業大学名誉教授の牟田博光氏をお招きして、オンラインで開催しました。

講演では、ミャンマーの教育制度と高等教育資格の全体像を概観し、基礎教育から大学教育までの制度構造や改革動向の紹介が行われました。特に、KG（幼児教育）＋5（初等教育）・4（前期中等教育）・3（後期中等教育）へ移行した制度改革やマトリキュレーション試験^{（注）}の役割、クーデターや新型コロナウイルスによる教育混乱の影響、学生数や学力の変化の分析結果など、詳細な資料を用いて説明が行われました。また、高等教育では大学入学制度や質保証の課題、複数省による管轄の問題点が示されるとともに、学生モビリティの拡大や今後の展望が提示されました。

質疑応答では、後期中等教育課程（アテッタン・アスィン・ピンニャーイエーの課程）の修了要件、マトリキュレーション試験を中心とした大学入学資格の扱いや、Grade12制度との関係に関する質問が多く寄せられました。また、反政府地域の教育制度や発行される証明書の信頼性、国際カリキュラムとの接続などにも関心が集まり、ミャンマーの教育制度の国際的整合性への関心の高さがうかがえました。

事後アンケートでは、大変多くの方から「とても良かった」「良かった」との高い評価をいただき、ミャンマーの教育制度改革や大学入学資格制度について理解が深まったとの声が多く寄せられるなど、全体として非常に満足度の高い結果となりました。特に、政治・社会情勢の変化が教育に与えた影響や、国際的な資格認証の課題に関する説明が興味深く、今後の高等教育の動向を考える上で大変参考になったとの感想が見られました。

（注）マトリキュレーション試験：2019年までは、後期中等教育課程の修了認定と大学入学資格認定を兼ねる全国統一試験として実施されていた。2020年以降は、後期中等教育課程の修了認定が各学校による認定に変更されたことから、大学入学資格認定を主な目的とする試験として実施されている。

NIC-Japanでは、今後もNIC-Japanセミナーシリーズ等を通じて高等教育資格の円滑な承認に資する情報提供に力を入れてまいります。

※当日の動画や講演資料は、[NIC-Japanのウェブサイト](https://www.nicjp.niad.ac.jp)からご覧いただけます。